

みんなで楽しくスポーツを

No.273

2016年2月



2015紀の国わかやま国体 陸上競技
優勝 成年男子 棒高跳び
荻田 大樹【ミスノ】
写真：四国新聞社 提供



2015紀の国わかやま国体 なぎなた競技
優勝 少年女子 試合【琴平高校】
写真：四国新聞社 提供

地域づくりも スポーツから!



第26回県民スポレク祭
H27.11.8 (サンポート高松)

- スポーツのすすめ
香川県スポーツ少年団 本部長 住谷 幸伸
- スポーツリーダーバンク登録指導者の声
河田 紀夫、河谷 百合子、金森 庸二
- わが町のスポーツ自慢
善通寺市、土庄町
- かがわのスポーツ・インフォメーション

香川県教育委員会



スポーツのすすめ



『スポーツ少年団とスポーツ教育』 地域の教育力を見直そう

香川県スポーツ少年団

本部長

住谷

幸伸

オリンピック教育

ある研修会で受講者の皆さんに尋ねてみました。「あなたは2020年東京オリンピック・パラリンピックに何を期待しますか。」こんな答えが返ってきました。「国際交流の促進」「施設建設や観光客の増加による経済的効果」「選手強化と日本選手の活躍」などです。メディアが注目している内容とほぼ同じでした。もつともな回答であり私も同感ですが、はたしてそれだけでしょうか。

1892年、近代オリンピック創設にあたりクーベルタン男爵は「オリンピックの復活こそが青少年のための新たなスポーツ教育であり、社会を変革する起爆剤になる」と述べています。1964年の東京オリンピックにおいて、世界から3352名の青少年が集い、ユースキャンプが行われました。目的はオリンピックを通じた青少年交流と教育でした。オリンピックムーブメントは世界平和とオリンピック教育にあったと

いうことです。スポーツ少年団はその理念を受け継ぎ、1962年に東京オリンピックのレガシー（遺産）として誕生したのです。

スポーツ少年団の理念

スポーツ少年団をなぜやるのでしょうか。スポーツ少年団の理念は「スポーツをとおした青少年の教育」を第一に掲げています。先人はスポーツ教育を通して青少年の心と体を育て、世界に通じる日本人をつくりたいと考えたのだと思います。5年ほど前、スポーツ少年団が創立50周年を迎えるにあたり理念の再検討を行いました。しかし、50年経過した今もその理念を変えることはできませんでした。

試合文化の拡大

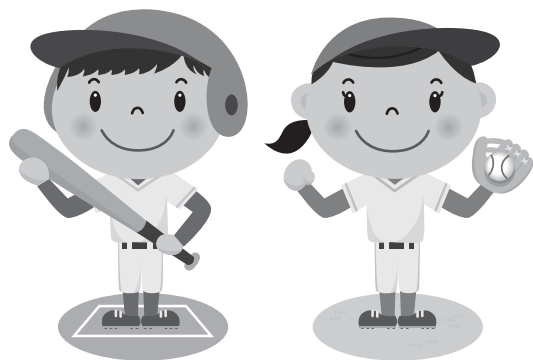
少子化傾向も手伝って、スポーツ少年団の団員登録者数の減少が近年顕著になってきました。（全国で毎年2〜3万人の減少）しかし、

その要因は少子化だけではありません。例えばサッカー競技のスポーツ少年団登録状況を見てみると、全国のスポーツ少年団登録率（スポーツ少年団登録団員÷サッカー協会4種登録数）は1993年の87・8%をピークとして下降をつづけ、2014年度は45・7%まで減少しています。これまでスポーツ少年団では競技団体とスポーツ少年団の二重登録をお願いしてきました。これはスポーツ少年団の理念を共有し、スポーツ教育の振興を図ることが目的でした。スポーツ少年団登録率の低下は、最近の試合に出ることができればいいという風潮の拡大を裏付けるものだと思います。子どものスポーツ活動のプラットフォームが多様化しています。どのようなプラットフォームでスポーツをするかは自由ですが、間違った指導者に対して警鐘を鳴らすガバナンスは大切と考えます。そこで犠牲になるのは子どもたちなのです。

地域の教育力

「スポーツで人々をつなぎ地域づくりに貢献する」先に述べた理念の見直しにおいて、スポーツ少年団が新しく追加した理念です。一方、文

部科学省はスポーツ基本計画（2012年3月策定）において、地域コミュニティの中核として総合型地域スポーツクラブの育成を取り上げ、スポーツによるまちづくりを進めています。私は高松市内6地区を回り聞き取り調査を行いました。その結果は今回詳しく述べることはできませんが、スポーツに期待する効果として、多くの方が地域住民の連携や人材育成を取り上げていました。私たちのまちは私たちが作る。私たちの子どもは私たちが育てる。ソーシャル・キャピタルを豊かにし、地域の教育力を見直すことが大切だと思います。



私とスポーツ推進委員活動



スポーツ推進委員
三豊市 河田 紀夫

私と地域のスポーツ事業の関わりは、30年前、スポーツ推進委員（旧体育指導員）から始まりました。その頃としては少なかつたサッカー

スポーツ少年団を立ち上げるなど地域のスポーツボランティア仲間を募っていきました。現在、このサッカースポーツ少年団は第1期生が指導者となって引き継いでいます。

三豊市は10年前に7町が合併し、市制施行10年を迎え、人口は65,399人（平成27年12月1日現在）、高齢化率は30%を超えています。現在、スポーツ推進委員は39名で活動していますが、イベント等に参加される人が固定化し減少していることや少子高齢化に伴い推進委員も高齢化が進むなど多くの問題があがっています。

こうした中、スポーツ推進委員に期待される役割も増え、創意工夫が求められる中で様々な事業を実施しています。今後は、今までスポーツに関心がなかった人たちに

もスポーツを身近なものとして一歩踏み出してもらい、生涯スポーツとしてより多くの人がスポーツを楽しんでももらえる場の提供づくりや後継者の育成に取り組んでいきたいと思っています。



地域の人の仲間づくり



花園地区体育協会
高松市 河谷百合子

花園地区体育協会では、花園小学校の体育施設を利用して、地域の人を対象に体づくりを行っています。子どもたちは町中で思いつきり遊べる公園や空き地もない状態で、また高齢者の方々は元気で自分の事は自分でできる体をキープできるように日ごろから体を動かしておく必要があります。

現在、体育館でキンボール、スポーツ吹矢を企画して就学前児からお年寄りまで楽しく体を動かしています。キンボールは、大きなボールを床に落とさないよう4人1組で

協力しながら2回の競技を3組で行います。スポーツ吹矢は、矢を飛ばす時に体全体を使いました、深い呼吸をするため静止していますが全身運動になり血液の循環がよくなります。

体を動かすことで、地域の人と交流も深まり元気で住みやすい花園地区であることを願いつつ、今後の活動につなげていきたいと考えています。もちろん、私自身も一人の体協会員としてスポーツを継続していくつもりです。

いつまでも自分のことは自分でできるからだを保つためにも！

「人生という目線でスポーツを見つめてみませんか？」



とらまるクラブ
ONLY ONE 武学士
高松市 金森 庸二

私は、現在中国武術いわゆるカンフーの指導者をさせて頂いております。

一言にスポーツと言いましても団体、個人競技、各競技様々な種類、特色があります。ただ人間が行う運動であるという観点から見れば

どれも同じ身体運動表現の一つであります。各競技特性を取り除いてしまえば、そこには何が残るのでしようか？

身体健康増進、人として生きる学び、喜怒哀楽を体験、体感できる場所ではないでしょうか？

スポーツとは、人が人生をより良いものにする為のツールの一つであると思います。参加者がスポーツと出会い、少しでも活き活きと人生が送れるお手伝いを我々指導者はしていかなければならないと思います。

当会には、障害を持つている方もいます。目に見える身体的な障害から目に見えない精神的な障害を持った方と様々です。しかし障害があるから運動は出来ないという考えではなく、「ここに来たら楽しい！」という思いで参加してくれています。

ある人物や事柄、スポーツとの出会いで良い意味で人生が大きく変わってしまう瞬間があるかと思えます。もしかしたら今日の参加者にそんな方がいるかもしれない。そんな瞬間のお手伝いが出来たらと思日々取り組んでおります。

普通寺市

「灯あかりウォーク」

10月10日、この時期恒例となった「灯あかりウォーク」が今年度も開催されました。この行事は、「リサイクルの町普通寺」と「スポーツ」とを合わせて何かできないかと考えた普通寺市スポーツ推進委員連絡協議会が主催する行事で、今年で9年目を迎えました。

「普通寺五岳の里」市民集いの丘公園に並べられた約3000本の竹灯を目指し、普通寺市役所から約4kmの道のりをウォーキングするといった内容で、老若男女問わず幅広い世代の方を対象としています。市民集いの丘公園へ並べる竹は、普通寺市内の里山を荒らす放置竹林から伐採した竹を使用し、竹灯の中に入れるロウソクは、市内の保育所や給食センターで使われた調理油（廃油）を利用した手作りロウソクを使用しているため、当初企画していた「リサイクルの町普通寺」をPRできる行事としても定着したと言えます。

参加募集は「ウォーキング」だけでなく、竹灯に火を灯す「点灯」も

募集しており、今年は「ウォーキング」で約200名、「点灯」で約320名の参加をいただくことができました。参加していただいた方には、うどんの接待もしており、こちらも大変好評をいただいております。参加は、市内外間わずどなたでも参加することができますので、ぜひ一度ご参加ください。虫の音と月光のシャワーの中歩く「ウォーキング」、ゴールで待つ幻想的な「灯あかり」で心身ともにリフレッシュする」と間違いなしです。



〔灯あかりウォーク〕

連絡先 普通寺市教育委員会生涯学習課

電話 0877-63-6328

FAX 0877-63-6348

土庄町

『三世代が楽しめる生涯スポーツ』

土庄町では、毎年11月3日に「土庄町宣言タイム健康マラソン・健康駅伝・健康ウォーク大会」を開催しています。この大会は、「定められたコースを走り、その所要タイムとあらかじめ申告したタイムとの誤差の少ない方が上位」となる変則ルールにより、年齢・性別を問わず、誰もが楽しめる大会です。

この大会の目的は、「だれでも参加できる宣言タイムルールでマラソン、駅伝、ウォークの3部門4種目を開催し、町民の体力づくり、健康づくりへの関心を高め、地域交流や世代間交流により、明るいまちづくりを目指す」ことにあります。

滝宮地区内を周回し、田園風景や瀬戸内海の眺めが楽しめるほのぼのとしたコースで、参加者は1キロ・2キロのマラソンやウォーキング、3人1チームでの駅伝にエントリーできます。他の選手の走りを見て焦る気持ちを抑え、自身の体内時計を信じて走ります。

第24回目となった今大会には、3

歳から84歳の延べ132名の参加者が集まりました。また、町体育協会や町スポーツ推進委員会を始め、多くの方々などの運営協力に支えられており、大会終了後の地元有志による素麺やぜんざいの接待も名物になっています。

今後も、多くの方々に参加してもらえるようユニークなスポーツイベントを心がけ、住民の健康づくりの二助となるよう継続していきたいと思っております。

連絡先 土庄町教育委員会生涯学習課

電話 0879-62-7013

FAX 0879-62-0387



〔宣言タイム健康マラソン〕

平成27年度かがわ 生涯スポーツフォーラム 盛大に開催！

総合型地域スポーツクラブの育成など生涯スポーツ環境の整備について理解を深めるため、「平成27年度かがわ生涯スポーツフォーラム」が11月29日(日)東かがわ市交流プラザで開催されました。



まず、一般社団法人鬼ごっこ協会事務局長平峯佑志氏が「若者や親子が夢中

になるスポーツ鬼ごっこの魅力とは」と題して講演を行いました。スポーツ鬼ごっこのルールをはじめ、民間企業・メディアと連携したイベントの開催事例や鬼ごっこの歴史・変遷などについて幅広くお話しいただきました。講演後は、「ルールをもっと詳しく教えてほしい」「実際に導入するときのポイントは何か」など、初めて耳にするスポーツ鬼ごっこに対し、活発に質問が飛び出しました。

次に「総合型地域スポーツクラブ、今後10年の道しるべ」と題し、かがわ総合リハビリテーション福祉センターの藤尾博子氏、とらまるクラブの藤尾博子氏、とらまるクラブのONRY・ONEの三好美佳氏、NPO法人総合クラブとさの田井

直子氏の3名をパネリストに迎え、香川県総合型クラブ連絡協議会会長の野崎武司氏にコーディネーターを務めていただきパネルディスカッションを行いました。登壇者と参加者が一体となつて、



総合型クラブをはじめ地域スポーツ環境の今後10年について考える機会となりました。

スポーツ体験では、スロージョギングについて運動効果や走り方のテクニックについて説明を受けた後、実際に体験しました。多数の楽しみ方を紹介いただき、参加者からも「笑顔で楽しめた」「ぜひ活動に取り入れてみたい」など大変好評でした。



第26回県民スポーツ・レクリエーション祭 開催報告！

11月8日

(日)サンポート高松において、第26回県民スポーツ・レクリエーション祭(ふれあいスポレク広場、レクリエーション大会)を開催しました。天候が心配されましたが、晴れ間もみられ、家族連れから高



齢者・障害者の皆様に参加していただきスポーツやレクリエーション活動に親しみ交流を深めました。ウオーキングやサイクリングなどのレクリエーション大会や、キンボール、スポーツチャンバラ、竹とんぼ教室、釜揚げうどんづくり体験などのふれあいスポレク広場に約4千人が集まりました。

ステージイベントとして、香川オリブガイナース、香川アイスフェローズ、高松ファイブアローズの選手によ



るトークショーの他、3B体操香川県支部やボールルームダンスなど5団体が、ダンスや演技を発表しました。また、お楽しみ会のスタンプリーチ抽選会もあり、大いに盛り上がりました。

9月・10月を中心に、各週末に開催されたスポーツ大会には、グラウンド・ゴルフ、実年者バレーボール、キッズサッカーなど21種目の大会に5千名を超える参加者があり、和やかな雰囲気の中、さわやかな汗を流しました。



6	5	4	3	2	1
ジュニア期のスポーツ 指導計画と安全管理 スポーツの安全と保障 スポーツ安全協会 植松 芳美	指導者の役割Ⅰ スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ 香川大学 米村 耕平 日本体育大学 成田 和穂	トレーニング論Ⅰ スポーツと栄養 文化としてのスポーツ 地域におけるスポーツ振興 四国学院大学 漆原 光徳 香川大学 田中 聡	スポーツ吹矢 障害者スポーツ 障害者スポーツ指導者協議会 藤尾 博子	正しいテーピング法 松本接骨院 松本 和子	救急法 エアロビクス&ピラティス 日本エアロビクス連盟 日本エアロビクス連盟 塩津 陽子

生涯スポーツ 指導者養成講座

生涯スポーツの積極的な推進や高度化・多様化するニーズに対応できる指導者の養成を目的に、毎年開講している講座が終了しました。スポーツに関する理論と実技についての研修を修了した26名の方々に県教育委員会から修了証が授与されました。また、公益財団法人日本体育協会のスポーツ指導者資格である、「スポーツリーダー」に27名の方が認定されました。

平成27年度内容



修了おめでとうのびびります



今年度修了された皆様

高松市 寒川 貴雄
善通寺市 小池 千恵子
東かがわ市 東谷 飛鳥
三豊市 河田 紀夫
徳島県 美馬 龍希 (敬称略)



総合型地域スポーツクラブ マネジャー養成講習会

今年度の総合型地域スポーツクラブマネジャー養成講習会が、12月5・6日に開催されました。

この講習会は、総合型地域スポーツクラブの創設や運営において中心的役割を果たすクラブマネジャーと、それを補佐するアシスタントマネジャーの育成を目的とし、7名が参加、うち5名が修了されました。

修了された皆様、修了おめでとうございます。それぞれの地域やクラブにおいて活躍されることを期待しております。

12/6	12/5	平成27年度講義内容
実践事例 (むれスポーツクラブ) クラブマネジャー 落合 賢 クラブのつくり方 (特定非営利活動法人しまもとパンブークラブ) 理事 松田 雅彦	地域スポーツクラブとは 立命館大学スポーツ健康科学部 クラブマネジャーの役割 教授 長積 仁 実践事例 (特定非営利活動法人 榎原健康スポーツクラブTKSC) クラブマネジャー 前川 妙子	

「2015紀の国わかやま国体」 香川県選手団の国体成績



2015紀の国わかやま国体 入賞者一覧(3位以上)

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属名
優勝	陸上競技	成年女子	ハンマー投	綾 真澄	丸善工業株式会社
	陸上競技	成年男子	棒高跳	萩田 大樹	ミズノ
	水泳(競泳)	少年男子B	50m自由形	村上 雅弥	坂出高等学校
	体操(新体操)	少年女子	団体競技(総合)	田口 美加 植松 早恵 三崎 楓 栗林 寧々 古市 穂乃佳 年國 寧々 八木 咲玖良	藤井高等学校 坂出高等学校 高瀬高等学校 香川中央高等学校 高松東高等学校 志度高等学校 観音寺中央高等学校
	レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル71kg級	湯田 敬太	拓殖大学
	ソフトテニス	少年男子	—	原口 峻一 中平 慎吾 藤井 祥太 高村 悌勝 戸畑 喜	尽誠学園高等学校 尽誠学園高等学校 尽誠学園高等学校 尽誠学園高等学校 尽誠学園高等学校
	ライフル射撃	成年男子	センター・ファイア・ピストル(30発)	上原 健司	香川県警察
	なぎなた	少年女子	試合	竹下 知里 宮武 希 林田 彩花	琴平高等学校 琴平高等学校 琴平高等学校
2位	水泳(競泳)	少年男子B	100m自由形	村上 雅弥	坂出高等学校
	レスリング	少年男子	フリースタイル84kg級	山根 光司	多度津高等学校
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル66kg級	市原 巧貴	香川中央高等学校
	フェンシング	成年男子	エペ	市ヶ谷 廣輝 宇山 賢 水口 紘希	三本松高等学校 三菱電機(株) 中央大学
	ライフル射撃	成年男子	10mエア・ピストル60発競技	堀水 宏次郎	香川県警察
	カヌー	成年男子	カヌースプリント・カヤックシングル(200m)	明石 寛幸	鹿屋体育大学
	カヌー	少年女子	カヌースプリント・カヤックシングル(200m)	森山和佳奈	高瀬高等学校
	銃剣道	少年男子	—	川上 立祥 平田 秀幸 西尾 圭人	尽誠学園高等学校 尽誠学園高等学校 尽誠学園高等学校
3位	ウエイトリフティング	成年男子	105kg級スナッチ	多田 佳弘	日本大学
	ウエイトリフティング	成年男子	105kg級クリーン&ジャーク	多田 佳弘	日本大学
	ウエイトリフティング	成年男子	105kg級トータル	多田 佳弘	日本大学
	カヌー	少年女子	カヌースプリント・カヤックシングル(500m)	森山和佳奈	高瀬高等学校

第70回国民体育大会「2015紀の国わかやま国体」が9月26日(土)から10月6日(火)まで(一部競技を除く)、和歌山県で開催されました。

本県からは、34競技に449名の選手団が参加し、17競技51種目で入賞を果たしました。その結果、冬季大会・本大会を通して、天皇杯得点879点、皇后杯得点433.5点を獲得し、天皇杯順位30位、皇后杯順位34位となりました。

今年はオリンピックイヤーです。国体で活躍した選手が、オリンピックをはじめ、さらに活躍することを期待します。皆さん、香川県選手の応援よろしくをお願いします!



ライフル射撃成年男子
センター・ファイア・ピストル
優勝 上原 健司(香川県警察)
〔写真 四国新聞社 提供〕



ソフトテニス少年男子(尽誠学園)
優勝の瞬間
〔写真 四国新聞社 提供〕



体操競技 新体操少年女子 団体
22年ぶり優勝の表彰台

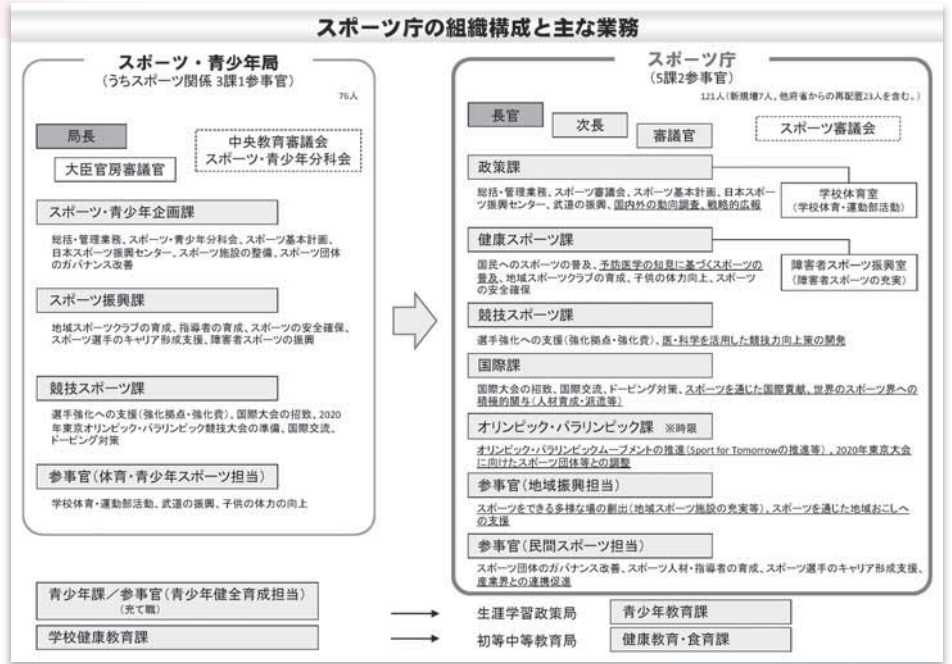


水泳競技 少年男子B50m自由形
2連覇を達成し、優勝インタビューをうける
村上 雅弥 選手(坂出高校)

スポーツ庁について

はじめに

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を前に、わが国のスポーツへの関心がこれまでになく高まっている。一方、わが国の国民医療費総額が年間で約40兆円に上り、スポーツがこれを抑制し、健康寿命の延伸に貢献できる可能性を秘めているなど、スポーツをより一層社会発展に活用する必要性も高まっている。このような中、スポーツ施策を総合的に推進するため、昨年10月1日に文部科学省の外局としてスポーツ庁が発足した。文部科学省の内局時代より体制が大幅に強化され、3課・1参事官から



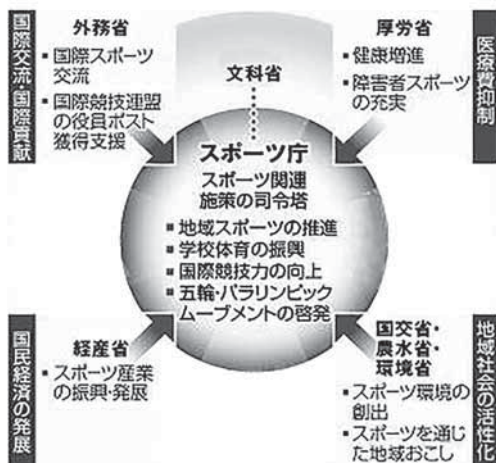
ら5課・2参事官となり、定員についても関係省庁から23人を再配置し、さらに民間人も加えた121人体制で臨むこととなった。

スポーツ庁の役割

スポーツを通じて「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む」ことができる社会の実現を目指し、当面、期待を寄せられているのが、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた国際競技力の向上である。東京大会でのメダル獲得目標(五輪は金メダル数世界3位、パラリンピックは7位)に向けて腕の見せどころだ。

トップアスリートの競技力向上策以外にも、スポーツ庁には重要な役割があり、スポーツを通じた健康増進・地域の活性化、学校体育・運動部活動の充実、さらには国民経済発展や国際貢献といった新たな分野にも積極的に取り組んでいく。五輪をきっかけに、学校体育を生涯スポーツにつなげ楽しめるスポーツの振興や、高齢者・障害者を含めた市民スポーツの裾野を広げ、スポーツ人口を増やし、文化としてのスポーツの魅力に光をあてることなど、「スポーツを通じた社会発展」を実現することである。スポーツの価値をどう高め、スポーツ分野の発展を国民生活にどうデザインしていくのか、スポーツ庁の今後の取り組みが期待される。

スポーツ庁の新たな仕事



スポーツ庁の業務には、これまで文部科学省が進めてきたものに、新たに次の3つが加えられた。

- ① **スポーツに関する基本的な政策の企画及び立案並びに推進に関すること**
スポーツ庁は、関係府省の司令塔的な役割を果たし、スポーツに関する横断的な基本的政策を企画、立案、推進していく。
- ② **スポーツに関する関係行政機関の事務の調整に関すること**
人事交流等を通じて幅広い関係省庁の知見を得つつ、関係省庁と連携し、スポーツに関わる案件がスムーズで合理的に処理されるよう、事務の調整を行う。
- ③ **心身の健康の保持増進に資するスポーツの機会の確保に関すること**
スポーツに関する無関心層も含めた国民全体のスポーツへの参画を促し、健康寿命が平均寿命に限りなく近づくような社会の構築を目指す。